

第5回 前畑弾薬庫跡地利用構想検討有識者会議
《佐世保港内視察、陸域（対岸）からの視察》 概要報告

【目的】 前畑弾薬庫について、佐世保港内における立地状況（周辺環境との関係や景観的視点による位置づけなど）を俯瞰的に観ていただき、今後の跡地利用の検討に生かすために実施。

【日時】 平成 29 年 5 月 11 日（火） 14:00～15:30

【場所】 佐世保港内、及び陸域（対岸：赤崎町付近）からの視察

【参加】 山本座長、飯田副座長、飯田委員、井手委員、古賀委員、崎田委員、指山委員、田中委員、中野委員、西川委員、原委員、藤木委員、松永委員、森岡委員、山口委員、湯川委員（敬称略、順不同）
 ※欠席委員：片岡委員、辻委員、草場委員、田雑委員、朝永委員（敬称略、順不同）

【視察項目】 (1) 佐世保港内視察（海上からの視察）
 (2) 陸域（対岸：赤崎町付近）からの視察

【視察内容（概要）】

項目	内容
佐世保港内視察	※市港湾部所管の防災船（船名：つくも）に乗船し実施 ※事務局（基地政策局）に関係部署（港湾部みなと整備課、都市整備部都市政策課・まち整備課）の担当者も同乗し説明対応。（説明の概要、以下のとおり）
	<p>【湾内視察】 ※別添「視察ルート」参照</p> <p>①防衛施設（自衛隊、米軍関係）、民間施設の現況〔概要〕について・・・ （基地政策局説明）</p> <p>以下、主な施設名（地区名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平瀬地区・立神地区 （SSK、ジュリエットベースン、インディアベースン） ・赤崎貯油所、庵崎貯油所、横瀬貯油所 ・針尾島弾薬集積所 ・崎辺地区（西・東地区） <p>②佐世保港の港勢について（概要）・・・（みなと整備課説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐世保港の歴史（昭和 23 年 貿易港指定、昭和 26 年 重要港湾指定等） ・佐世保港の規模 ※重要港湾以上で比較 〔港湾空間のランキング〕 <ul style="list-style-type: none"> ・港湾区域（水域） 第 27 位 5,777 h a（2015 年） ・臨港地区（陸域） 第 41 位 351 h a（2015 年） 〔港湾取扱貨物量ランキング〕 総貨物量（輸出入・内貿・内航フェリー） 第 104 位 311 万トン（2013 年） 〔船舶乗降人員ランキング〕 外航・内航 航路 第 41 位 65 万人 ・三浦地区（佐世保港国際ターミナル供用開始ほか）など概況説明 <p>③佐世保市の都市計画に関する基本方針について・・・（都市政策課説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐世保市の都市づくりの基本方針は「九州北西部の拠点として、活力のある産業・観光によりにぎわいのある都市をつくる」ことを標榜 ・対象地の用途地域は工業専用地域で市街化調整区域であるが、まちづくりの方向性としては「既存の工業地における産業活動の増進に資する土地利用の誘導」「地域資源の保全と活用・自然環境と市街地の共存」と位置付け ・なお、市としての構想を策定後、その内容を考慮し、地域における方向性の見直しの検討が必要と考える <p>④海から見る佐世保の景観について・・・（まち整備課説明）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「佐世保市景観計画」において対象地域（弾薬庫含む周辺地域）は「都心まちなみゾーン」に位置づけ ・そのとして「山並みと海への眺望により、身近に自然が感じられ、佐世保の玄関にふさわしい活気と賑わいのあるまちなみ景観の保全・創造」という景観形成の方針 ・建築物の形態・意匠は「周辺環境との調和が図れる高さ・規模とし、背景の山の稜線への眺望を妨げないようにする」とし、建築物等の色彩は「周辺の自然やまちなみとの調和が図れるよう、低彩度色を基本とする」といった配慮事項をルール化 ・市景観計画を踏まえ、対象地域（弾薬庫含む周辺地域）の環境や歴史的な遺構と調和するような景観形成は重要
	<p>【陸上(対岸：赤崎町付近)から視察】</p> <p>※現地（弾薬庫）の現況について、目視による確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・・・別添「視察ルート」写真参照

【視察後の委員へのアンケート結果について（概要）】

- ・現地視察終了後、出席委員対象に次の設問（3つの設問）によりアンケートを実施しました。以下に結果（要約）を示します。

〔設問1〕今回の現地視察で気づいたこと、印象に残っていることなどについて

ア) 景観等（地形・海岸線など）に関すること

- ・山林が多く、平地が少ない。（複数意見あり）
- ・敷地が狭く細長い。
- ・照葉樹林帯が多く残っている、急斜面の山地は、緑が多い。
- ・緑が多く、施設が地中にあるような印象が強い。
- ・護岸の一部は砂岩の磯が続いていた。
- ・一里島（弁天島）が弾薬庫の新緑と海岸線とのコントラストが映えて印象的だった。
- ・港（三浦～干尽）から弾薬庫までは近く、また、そこまでに至る景観は何ものにも代え難い美しさがある。

イ) アクセスに関すること

- ・跡地への移動時間は船が早い。

ウ) 周辺の土地利用の状況等に関すること

- ・多様な施設が海岸沿いに並ぶアンバランス感が印象的であった。
- ・市の中心部に近い。

エ) 弾薬庫の位置関係に関すること

- ・弾薬庫は住宅地（民間地）に近い。
- ・弾薬庫と住宅地の距離が近く危険。
- ・湾内の主要施設の大半を米軍基地が専有している状況を改めて認識した。
- ・米艦、自衛艦、商船等の往来が佐世保港ならではの風物詩、その中であって巡回史跡巡りの拠点としての役割も果たせる印象を持った。

オ) 弾薬庫（建物自体）の活用/弾薬庫（建物）の印象

- ・佐世保港の玄関という印象をもった。
- ・日本遺産にふさわしい、素晴らしい景観を有し、佐世保の宝庫・宝箱であると確信した。
- ・大幅な現状の変更は予算確保の面などから困難であろう。
- ・弾薬庫は全て取り壊すのではなく一部を有効活用するのが得策と思う。

- ・外観的に観て施設の保存状態がよく、文化、歴史、自然等の観点から景観的に調和も良好に思えた。
- ・森林、水辺といった自然が大きな特徴であるが、建物自体が見えにくい状況の中で、観光活用の視点でみた場合、何も知らないで現地を見ると「何もない場所」（観光すべきものがない場所）に見える。

〔設問2〕跡地利用の考え方（イメージ）について

ア) 自然、歴史的資源を生かした活用策（自然と歴史的資源を最大限に活用する等）に関すること

- ・市街地とウォーターフロントが一体となる「みなとまち」構想や「新設歴史公園」等に結び付ける活用策の検討。（海岸線に生活道路の新設や磯辺を利用した釣り場、ヨット乗り場等をセットする）
- ・観覧用の艦船を海上に浮かべ、現地シンボルとし、倉庫群とともに歴史的資料として活用する。
- ・自然を活かした公園、散歩道、花園の整備とった活用策を検討。
- ・森林部を自然遺産や旧住居跡の保存等を検討し、弾薬庫を資料館等として有効活用する。
- ・パゴダ式建物は、形も特徴的であり、今なお使用されている歴史的にも貴重な財産であり、その保存・活用を検討。
- ・現況の自然のまま、森林や建物も保存し、弾薬庫は内部をリノベーションして活用を検討。
- ・重要伝統的建造物群保存地区に指定し、「観光振興」「市民の憩いのコミュニティ」による活用策を検討。
- ・跡地利用について、「保存と活用」の両面から考えるべきと思う。
- ・保存活用すべきエリア（観光資源）とするイメージを持った。
- ・現存の緑地部分はそのまま残し、陸上部分について、「観光」・「産業（商工含む）」・「その他」といった3つの用途を軸として、フレームを固める活用策を検討。
- ・佐世保らしいイメージを持たせるため、山の稜線は絶対に守り、それを乱す開発や施設づくりは禁止すべきと考える。
- ・自然のままの海岸線と背景の緑の森を生かす。
- ・巡回型の史跡めぐりを中心として市の財産活用に役立つと改めて認識した。
- ・日本遺産の構成資産の一つとして保存・活用する。
- ・「観光振興」や「市民の憩いのコミュニティ」を基本構想とした、次世代へ繋ぐ「ヘリテージさせぼの宝庫」「宝箱・ひと・観光」の跡地利用。

イ) 海からのアクセスに関すること

- ・観光の視点でみると、船によるアクセスが印象深くなる。
- ・遊覧船が接岸できる港湾整備による港の魅力向上。

ウ) コスト面（費用負担）に関すること

- ・山林の開発には多大な費用負担が想定されるので、事業主体にもよるが、相当の財政出動が見込まれる。
- ・土地の形状及び費用面から全ての活用策を盛り込むことは難しいと思われる。
- ・敷地が狭いので、大規模な活用（港湾機能の拡充、産業振興等）には大規模な造成などが必要であり、現実的に難しいと思う。

エ) 産業振興に関すること

- ・トンネルを活用した企業誘致。

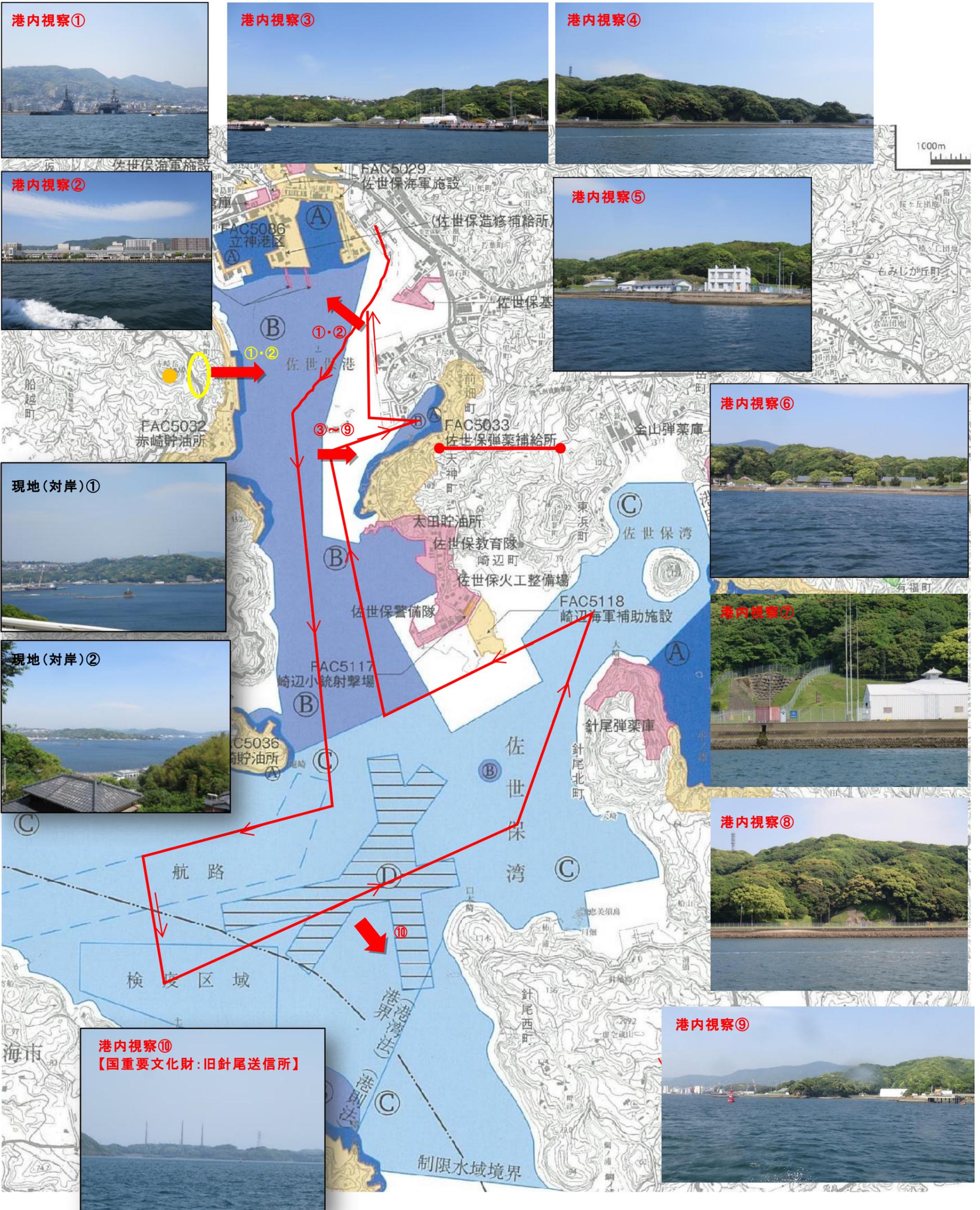
オ) 安全安心なまちづくりに関すること

- ・住民の安全面から早急な返還が必要である。
- ・防災の観点からの公共的スペースとしての利用を検討。

〔設問3〕 今後の議論に向けて、追加したい事項について

- ・外国人の視点で見る佐世保港（おもてなしの方法）を検討してはどうか。
- ・具体的なイメージを想定し、議論を深めてはどうか。
- ・今回の成果は、一つにまとめず各論併記してはどうか。
- ・跡地返還が決まってから再度議論をつめてはどうか。
- ・周辺環境を含む将来的な変化に対応できる方針をまとめてはどうか。
- ・隣接する自衛隊と一体的な活用を検討してはどうか。
- ・夜の景観も検討してはどうか。
- ・対岸から見た時、森林部の向うの乱反射する施設が気になった。

【視察ルート（視察の様子）】



- … 港内視察ルート
- … 現地(対岸)からの視察ポイント
- … 撮影方向

